

## よみがえる感動！

7月4日、ウェスタ川越大ホールで(公助)日本オリンピック委員会主催のオリンピックコンサートが開催されました。東京以外では初となる開催。平和や相互理解をはじめとしたオリンピック理念の普及を目的に、毎年行われています。

今年のテーマは「つなごう、聖なる炎を！」。オリンピックで輝く炎となるよう、夢へ向かって進み続けるアスリートの映像をバックに、オーケストラが「オリンピック・ファンファーレ」を始め、多くの名曲を演奏。集まった観客を魅了しました。



## オリンピックに向けて

オリンピックコンサートと同日、ウェスタ川越多目的ホールで開催されたオリンピックレガシー講演会。市、川越商工会議所、川越市体育協会が主催し、(公助)日本オリンピック委員会名誉委員・水野正人さんを講師に迎えました。水野さんからはオリンピック招致までの苦労や2020年東京オリンピックに向けた都市の活性化などについて話がありました。



水野正人さん



室伏広治さん(左)

また、ゲストのアテネオリンピックハンマー投げ金メダリスト・室伏広治さんは、体験談を交えオリンピックの素晴らしさを語ってくれました。講演会に参加した高田

琴音さん(小学4年生・大手町)は「これから外国の人がたくさん来ると思うので、英語の勉強を頑張って仲良くなりたい」と笑顔で話してくれました。



## ふおとニュース



### 大人を魅了！伝統の舞

7月19日、夏の太陽が照りつける中、白鬚神社で行われた「下小坂の獅子舞」。この獅子舞は、大獅子・中獅子・女獅子の3頭をはじめ、仲立ち、ササラッコ、棒使いと、全てを小学生の男の子が



演じる珍しい獅子舞です。大獅子・中獅子が女獅子を巡って争う様子は大人顔負けの迫力。

大獅子を演じた清川真翔くん(小学6年生・下小坂)は「少し緊張したけど、たくさん練習したからうまく踊れた。友達と一緒に踊れたことはいい思い出になる」と額いっぱい汗を浮かべ、すがすがしい表情で話してくれました。



### 体験 !! 地域の名人芸

7月2日、川越第一小学校で「地域の名人にズームイン！」と銘打った総合学習の授業が行われました。授業を受けた4年生たちは、名人に教えてもらいながら、筆文字アートや南京玉すだれなどを体験しました。



名人の1人、筆文字アートの小畑玲子さん(郭町1丁目)は「伝えたい想いをカタチにする筆文字アートは発想力が必要です。子どもたちの文字には発想力があり、驚きました」と話してくれました。



釣りざお、ソーレ

初めて南京玉すだれを体験したという金子彩奈さん(松郷)は「リズムに合わせて釣りざおを作るのが楽しかった。またやってみよう」と笑顔。友達と一緒に「アさて、アさて……」と歌もお気に入りの様子でした。